

【別添様式2：不適合事象完了報告書】

不適合事象の種類	火災（区分2）
不適合事象発生場所	リサイクルプラザ 1F 可燃粗大ごみ破砕機、せん断物コンベア
不適合事象発生日時	平成 21 年 12 月 16 日 14時 03分
1) 不適合事象の発生概要	リサイクルプラザ1階に設置してある可燃粗大ごみ破砕機の下にある破砕後のごみを搬送するせん断物コンベア（金属製）において、破砕後のごみが燃えた。今回は、せん断物コンベアの垂直部分で約1時間、くすぶった状態が続き、煙が多く発生した。
2) 不適合事象の原因	破砕機破砕中に火花が発生し、破砕中のごみに着火、破砕機から落下し、せん断物コンベア上で燃え出したものであるが、火種となるごみが何らかの原因で炎検知部を通過した後、炎が出たものと推定される。
3) 被害状況	①設備・装置の被害状況 無 ②人的被害状況 無 ③二次被害状況 無 ④周辺環境への影響： 無
4) 不適合事象発生時の対応等	せん断物コンベアの破砕機に近いところに設置してある炎検知機で炎検知と同時に、自動で消火用散水設備から散水を開始した。（コンベアは自動停止する。）さらに、せん断物コンベア下部の水平部の火は、職員が水道水により完全消火した。せん断物コンベアの垂直部でくすぶっていたごみは、散水設備のみで消火できず、せん断物コンベア上部落ち口の点検口から、屋内消火栓を用いて消火を試みたが、垂直部分のバケット内でくすぶっているごみには、直接水がかからず消火が困難であった。消防隊が到着して、放水したが同様であった。最終的に、せん断物コンベアを動かし、NO2 可燃物コンベアへの落ち口で消火し、さらに NO2 可燃物コンベアからの乗り継ぎ先の NO3 可燃物コンベアを逆回転させ、ごみを床に落とし消火した。
5) 施設稼働停止の状況及び復旧日時	施設稼働停止期間： 0日（6時間） / 低負荷時間： 0時間 復旧日時：平成 21 年 12 月 16 日 20 時 00 分（鎮火15時40分）
6) 不適合事象の調査及び防止対策等の状況	①不適合事象対策本部の設置： 無 ②周辺環境調査の実施： 無 ③不適合事象調査委員会の開催 無 ④復旧作業・不適合事象防止対策・改善策等 破砕機等は火災等を想定しているが、今回の事象について検証し、今後の対応を検討する。
7) その他	

# リサイクルプラザ Recycle Plaza

